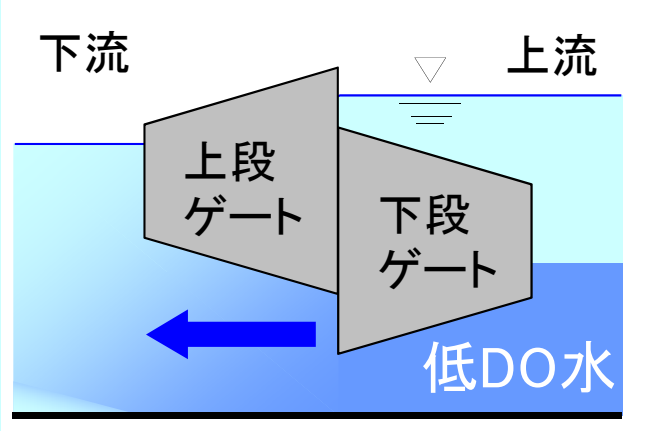
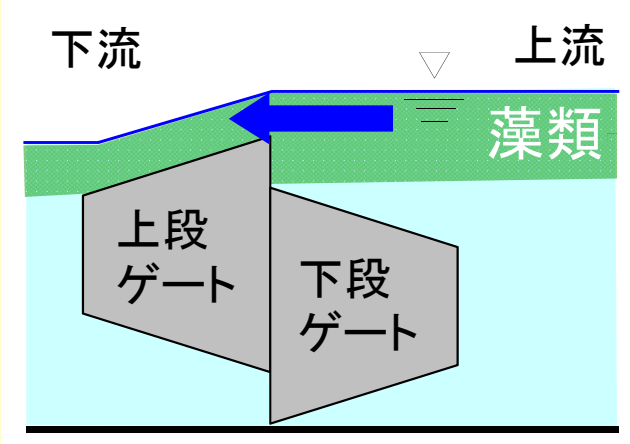
水質保全のためのフラッシュ操作

- 堰上流の水質保全のため、魚道に必要な流量、平常時のオーバーフローによる放流を確保しながら、一時的に堰放流量を増大させる操作を行っている。

目的	アンダーフローによる 堰上流底層DOの改善	オーバーフローによる 堰上流藻類の対策
開始基準	伊勢大橋地点（河口から6.4km）の底層DO 平成22年度まで6.0mg/L未満 平成23年度以降7.5mg/L未満	伊勢大橋地点（河口から6.4km）の 表層クロロフィルa濃度が40μg/Lを上回る
操作形態	アンダーフローによるフラッシュ操作 	オーバーフローによるフラッシュ操作 

注）平常時の魚類の遡上に配慮したオーバーフローによる放流に加え、水質悪化を防ぐ予防的な措置としてフラッシュ操作を実施している。